臨床検査センターインフォメーション

令和7年2月26日
NO. 2025-@7_週報

週報① 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	2024年												2025年						
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~5日	1月 ~12日	1月 ~19日	1月 ~26日	2月 ~2日	2月 ~9日	2月 ~16日
カンピロバクター	20	24	38	25	57	50	39	41	50	50	37	36	3	6	5	4	1	4	3
病原性大腸菌	43	61	105	92	79	76	83	70	86	49	46	33	1	5	10	7	28	24 (25)	23
腸管出血性大腸菌	0	3	1	0	1	2	1	6	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
サルモネラ	4	4	2	7	5	8	12	29	13	12	7	6	0	0	1	0	2	1	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	4	16	4	12	21	11	17	24	5	6	4	1	4	3	6	4	5	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	8	6	12	6	3	10	8	6	21	12	8	13	1	2	4	2	2	2	2
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	3	1	5	1	2	0	1	0	0	0	0	1	0	1*
ロタウイルス	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	4	2
アデノウイルス	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	1
ノロウイルス	9	20	10	3	4	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3

( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。
＊その他は、アエロモナスでした。

週報② 広島県感染症・疾病管理センター（ひろしまCDC） 感染症週報

令和7年第7週（2月10日～2月16日）

2. 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類 別	報告数	疾 患 名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一 類	0	発生なし	0							
二 類	3	結核	3			1	1	1		
三 類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1				1			
四 類	0	発生なし	0							
五 類	10	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染	2					2		
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					1		
		侵襲性インフルエンザ菌感染症	1							1
		水痘（入院例）	1			1				
		梅毒	3					2		1
		百日咳	2	1				1		

注） 西部 … 大竹市，廿日市市，府中町，海田町，熊野町，坂町，安芸高田市，安芸太田町，北広島町，江田島市　西部東 … 竹原市，東広島市，大崎上島町
東部 … 三原市，尾道市，世羅町，府中市，神石高原町　北 部 … 三次市，庄原市

● 詳しい流行状況は，広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/

一般社団法人 広島市医師会 臨床検査センター
一般社団法人広島市医師会
臨床検査センター
代表電話 0120－14－7191
http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp

週報③

広島市感染症対策協議会・広島市感染症情報センター
広島市感染症週報　　令和 7年7週(2月10日～2月16日)

■コメント

1　感染性胃腸炎
定点当たり12.83人の報告があり、前週と比べて減少しましたが、多い状況です。こまめな手洗い、便・吐物の適切な処理など、感染予防対策を徹底しましょう。

2　RSウイルス感染症
定点当たり0.96人の報告があり、例年同時期より多い状況が続いています。感染経路は、飛沫感染、接触感染です。おもちゃや手すりなど手の触れる部分の消毒や手洗いの励行、咳エチケットなど、感染予防対策を心がけましょう。

3　A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
定点当たり1.52人の報告がありました。感染経路は、飛沫感染、接触感染です。手洗い、咳エチケットなどの感染予防対策を心がけましょう。

4　新型コロナウイルス感染症(COVID-19)
定点当たり2.44人の報告がありました。引き続き、基本的な感染予防対策を徹底しましょう。

■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
インフル	インフルエンザ	57	1.58	9.50	⇨
インフル	新型コロナ(COVID−19)	88	2.44	／	⇨
小児科	RSウイルス感染症	22	0.96	0.13	⇨
小児科	咽頭結膜熱	5	0.22	0.46	
小児科	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	35	1.52	1.26	⇗
小児科	感染性胃腸炎	295	12.83	5.70	⇘
小児科	水痘	−	−	0.09	
小児科	手足口病	−	−	0.22	
小児科	伝染性紅斑	1	0.04	0.10	
小児科	突発性発しん	4	0.17	0.20	

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	過去5年間平均(注)	発生記号
小児科	ヘルパンギーナ	1	0.04	0.02	
小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	−	
眼科	急性出血性結膜炎	1	0.13	0.03	
眼科	流行性角結膜炎	7	0.88	0.43	
基幹	細菌性髄膜炎	−	−	0.03	
基幹	無菌性髄膜炎	−	−	−	
基幹	マイコプラズマ肺炎	4	0.67	0.06	
基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	−	−	−	
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.17	0.03	

区分	記号	説明
急増減	⇧ ⇩	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	⇗ ⇘	前週と比較しておおむね1:1.5～2の増減
微増減	⇗ ⇘	前週と比較しておおむね1:1.1～1.5の増減
横ばい	⇨	ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	6

(注)過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	11	10歳未満
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	2	4	50歳代、80歳代
5	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	6	70歳代
5	梅毒	2	16	20歳代、50歳代
5	百日咳	1	18	10歳代